

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年2月3日

江別市立野幌若葉小学校

1 本年度の重点目標

「やさしさいっぱい すすんで・じっくり さいごまで」

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	主体的・対話的で深い学びの実現と確かな学力を育む指導の工夫改善	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人一人の学習状況(理解度など)は違うため、様々な教科で担任、担任外、支援員などが、日常的に子どもたちの見取りをし、その情報の共有と改善に向け、計画的な習熟度別やTTなどを進めている。</li> <li>◎教科領域に応じた資質・能力の確実な育成のため、全教職員で学校改善プランを共有し、児童の実態から本校の課題や目標、今後取り組むべき改善策を確認し、授業改善を進める。あわせて、支援リストを活用し、個々の実態を把握し支援を進める。</li> </ul>	A	A
	効果的な教育活動を推進する働き方改革の実施	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な声掛け、「時間外在校等勤務時間を減らすよう意識した働き方」や「業務の見直しと効率化」「各種会議開始時刻の意識化」など取組を進めることで、昨年度より平均40分以上時間外在校等時間を減らすことができた。</li> <li>◎時間外在校等勤務時間のさらなる削減、各種委員会や会議等の効率化を図るなど、今後も効果的で質の高い教育活動を推進できるように働き方改革に取り組んでいく。</li> </ul>	B	A
教育課程・学習指導	「対話」を重視した、子どもたちが活躍する授業づくりによる、資質・能力の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究は、今年度から新しい研究になり、全ての教科において「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図れるように、主体的に学び、進んで考えを伝える子どもの育成を目指す授業づくりに努めてきた。どの学年でもペアやグループ学習など「対話」への意識的な挑戦が見られた。</li> <li>◎子どもが主体的に学習を進められるように今後も「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に推進していく。</li> </ul>	A	A
	子どもが考えをまとめたり、他者との協働的な学びを進めたりするためのICT(タブレット端末等)の有効活用	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の教育情報化促進計画「えべつ情報活用能力を育む学習プログラム」に沿って、低学年はタブレット端末の操作に慣れるところから、中学年や高学年は発達段階に合わせて活用を進めてきた。授業での活用場面も徐々に増え、児童にとってもタブレットは身近なものとなってきている。また、協働的な学びを進めるにあたり、「スマイルノート」などのソフトを活用している。</li> <li>◎「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な活用を進める本校の研究を軸に、子ども達が主体的に学びを進め、多様な考え方を共有することができるよう今後も研修を深めていく。</li> </ul>	A	A

	支援を必要とする児童や、一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターを中心に、全教職員で情報を共有するとともに、その情報をもとに計画的、組織的に子どもたちの支援を進めてきた。</li> <li>・必要に応じて、保護者や各関係機関との連携し、素早い対応を図ってきた。</li> </ul> <p>◎個別の支援を充実させるために、さらに組織体制を工夫改善し、個に応じた指導方法を工夫していく。</p>	A	A
生徒指導	基本的な生活習慣の定着ときまりを守る態度の育成	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区での生活のきまりに基づき、4期に分けて共通した目標を設定し意識の向上を図ってきた。また4校で時期を合わせたあいさつ運動も実施した。児童会の書記局や生活委員会主催のあいさつ運動も実施された。日常的な清掃活動や児童会などが企画する活動などで、縦割り班での活動を計画実施。</li> </ul> <p>◎今後もあいさつや廊下歩行、チャイム席、姿勢など、目標を焦点化して指導していく。</p>	A	A
	いじめ・不登校の未然防止、問題行動等への早期・組織的対応、共感的理解を通じた好ましい人間関係の確立	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策委員会、いじめアンケート（3回）、児童アンケート（2回）、学年部会、週1回の職員集会、職員会議、生徒指導委員会等を生かし、情報を共有し、素早く組織的に対応した。</li> <li>・校内適応指導教室の設置と身近な存在の教職員集団を心掛け、子どもが安心安全できる環境づくりを進めた。</li> <li>・年度当初に教務部教育支援係が作成した「登校渋り・不登校の早期発見のために」を全教職員で共有し、マニュアルに沿って支援を進めている。</li> </ul> <p>◎発達支持的生徒指導を基盤とし、共感的な人間関係と援助希求的態度の育成、自己肯定感や自己有用感を高める指導を行う。</p> <p>◎各関係機関と連携し、個別相談や定期的なケース会議の実施等、きめ細やかな対応を進めていく。</p>	A	A
健康な体作り	パワーアップタイムの取組など、課題の焦点化と体力向上に向けた具体的実践	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なわとび検定や外部講師による走り方教室や体幹を鍛えるエクササイズ、体育エキスパート教員との授業等、体力向上のための取組を進めた。また、今年度は大学の支援によるスポーツトライを実施。（3年に1度）</li> </ul> <p>◎新体力テストの分析から次年度に向けた「体力向上プラン」を作成し、授業改善や運動の機会の増加、体力向上への意識をもって取り組めるようなさらなる環境整備を行う。</p>	A	A
	安心安全な教育環境への配慮や、健康教育・安全教育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症対策については、熱中症警戒アラートや熱中症指数モニターを確認し、校内放送による外遊びの可否連絡や水分補給など注意喚起、スポットクーラーやサーキュレーターの効果的な活用、水分補給の呼びかけなどの取組を進めた。</li> <li>・校内外で安心安全な教育活動が進められるよう、施設の徹底や玄関前での登下校指導、保護者を含めた来校時の確認など、不審者対策も含め危機管理体制を徹底した。</li> <li>・急な天候の変化など突発的な自然災害発生時も、児童の安全を最優先に、冷静に状況把握や保護者への連絡を含めた対応について、全教職員で確実に共有しながら進めた。</li> <li>・アレルギーのある児童について全教職員で共有。</li> </ul>	A	A

			<p>◎情報を素早く共有し、組織的な対応を進める。保護者や地域と協力・連携のもと、校内外の施設点検や物の整理整頓、見守り活動の強化等、安心安全な教育環境の整備を進める。</p> <p>◎食に関する指導や衛生管理、健康な体づくりを推進する。</p>		
信頼される学校作り	学校便り、ホームページ等を通じた情報発信や、懇談会等保護者・地域との連携	A	<p>・参観や懇談、学校だより、学年だより、ホームページ、一斉メール (tetoru メール) 等で積極的に情報を発信した。また、前期終業式の日に見守り隊の皆様への感謝の会と懇談会を開催した。地域と共有感をもつ取組を進めた。</p> <p>◎さらなる情報発信・収集・共有の方法の工夫をしていく。</p>	A	A
	地域の人材や施設、環境などの教育資源を活用した取組	A	<p>・近隣の大学を含め、地域からの外部講師を積極的にお招きし、児童の学びが深まった。また、消防署や郵便局、情報図書館、校区のお店等にも見学や取材に行くなど地域の方々に多くの協力をいただいた。全校で行った防災学校の際には、市役所や警察署、自衛隊や大型商業施設の職員や校区の自治会の方々にご協力をいただいた。</p> <p>◎今後も地域や外部の資源を確保し、より効果的な教育活動を進めていく。</p>	A	A
小中一貫教育	小中一貫教育においての小中連携、小小連携、幼保こ小連携の促進	A	<p>・小中一貫教育が本格実施となり3年目となった。今年度は新たに教科部会を作り、各教科専門的な視点で積極的に連携を図ってきた。</p> <p>・小中連携では、6年生の部活動体験、学習体験、吹奏楽部によるふれあいコンサート、学習サポート DAY のボランティアを実施した。小小連携では、情報大との連携によるプログラミング学習を各校で実施した。</p> <p>・幼保こ小連携については、確実な引継ぎを行うとともに、運動会や学習発表会の練習期間中や学校一斉公開日には、幼稚園や保育園の園児と職員が見学に来ていただき連携を図った。</p> <p>◎めざす子ども像「夢に向かい行動する子」の実現に向け、さらなる小中連携、小小連携を進めていく。幼保こ小の交流も、引継ぎを中心としながらも、確実に連携を深めていく。</p>	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

- ・ 去年11月より、tetoru に登録させていただきました。学校からきめ細かなお知らせを見て、40年前我が子が通った若葉小を思い出し、これから若葉小に通うであろう孫の事を思いました。児童アンケート、保護者アンケートを見、意見要望、感想などなんでも言える学校がある事を喜ばしく思いました。全てが子ども達にとって良い方向に向かっていると思えました。この校風をこのまま続けて下さい。
- ・ 普段子どもとの接点がない私にとっては、朝の見守り時、委員会の登校時子ども達の元気いっばいのあいさつ、笑顔に触れ、元気をもらえる時間です。こんな機会に恵まれていることに感謝しています。ありがとうございます。この評価に関して言えば、アンケートによってほぼ9割の良い評価を頂いていることに自己評価が甘いのでは？と思う点もあります。個人的に少数意見にこそ、耳を傾けるべきという思いがあり、父兄の声を興味深く拝見しました。
- ・ 先日の参観では、どの学年またはクラスも授業の集中が感じられ、重点目標への取組の成果が感じられました。
- ・ エアコンが設置されたことを聞いて安心いたしました。それに対して、床に置かれたスキーがかなりの面積を占めていたので、改善できればよいなと思いました。※若葉小学校独自で対応することではないと思いますが・・・
- ・ 幼保こ小連携について、先月合同引継ぎ会が行われ、昨年よりも内容が充実したのではないかと思います。願わくば、小学校の先生方にもぜひ幼保こにおいていただいて、保育の様子を見ていた

だければと思います。

- ・ 平素より子ども達の教育にご尽力頂き、大変感謝しております。今年度に限らず、野幌若葉小の学校運営には多大な信頼をしております。評価に記述されている「個別最適な学び」は年々多様化複雑化していると思います。「個別最適」の内容に関する評価もあるとよいと思います。時間外40分は素晴らしい成果だと思います。その分在宅ワークが増えていないか心配です。職員のワークライフバランスに関する供述もあると良いと思います。
- ・ 若葉小学校の学校運営に於いても近年山積する諸問題の中、様々な制約の中、限られた時間の中を見事に推し進められていると感心しきりです。朝、始業前に児童を玄関で迎える・・・素晴らしいと思います。

【評点】 A：よい      B：おおむねよい      C：ややよくない      D：よくない